



市長とランチミーティング 36

障がいがあっても、生き甲斐のある生活を送りたい！

第36回「市長とランチミーティング」は6月28日(木)に「自立生活センター南十字星」の皆さんと行われました。

中山市長

本日はランチミーティングに参加いただき、ありがとうございます。今日は皆さんから貴重な意見を沢山いただき今後の市政運営に役立てていければと考えています。よろしくお願いします。

砂川氏

こんにちは。自立生活センター南十字星は石垣市では初めてのタイプの福祉事業所になります。この自立支援センターは、障がい当事者が運営して、重度障がい者が地域で自立した生活ができるよう、自立支援プログラムをはじめ様々なサービスを提供していく施設です。特色としては当事者が運営して、当事者をサポートしていくという形になっています。障がい者の事は障がい者が良く理解している一番の理解者だろうという考えで運営を行っています。

金城代表

代表をしております金城です。今回はこのような機会を設けて頂きありがとうございます。とても緊張していますが今日はよろしくお願いします。私たちの事業所が他の事業所と違う所は、当事

者が主体となつて、当事者が中心となつてサービスを提供していくところ。私たちの事業所の目玉が「自立生活プログラム」と「ピアカウンセリング」です。「ピアカウンセリング」とは名前の通り「ピア」とは仲間という意味で、障がいを持った仲間(ピア・カウンセラー)が現在、どのような悩みがあるのか、また必要としているのか、どういった点に問題があるのかなどを聞く機会を作り、その方の現状を把握していくというものです。



また、当事者自身が何に悩み、何に不安を感じているのかをうまく理解していない場合もあり、その不安をピアカウンセリングという方法でコミュニケーションをとりながらその方の考え方や生活を理解していくという方法です。その後、自立生活支援に向けたプログラムに繋がっていきます。自立支援プログラムには外出の仕方、金銭管理、調理実習、恋愛や介助者とかかわり方など様々な内容になっています。これは本人に合わせてプログラムを組んでいきます。私たちの考える自立というのは、食事や着替えを自分ひとりでやる事ができるようになることではなく、「どう生きる」のかを自分で考え「自己決定」「自己選択」「自己責任」のもと一人の人間として認められることです。施設や親元で庇護や管理された生活ではなく、必要なサービスを受け、自分がどこで暮らし、どう過ごすのかを自分自身で考え、責任を持って生活していく事を大切にしたいという思いで私たちのスタッフは考えて活動を行っています。

中山市長
現在、事業所の利用者は何名いますか？

砂川氏
現在は一人です。

東迎障害福祉課長
平成24年度の石垣市内の障がい者あるいは障害者手帳を持っている人の数は約2400人います。身体障がい者が1750名、知的障がい者が400名、精神障がい者が260名います。その中でも重度の身体障がい者(1級・2級)が470名います。





砂川氏
私たちの事業所はPaikokuと自立生活センター南十字星からなっています。Paikokuは重度訪問のヘルパー派遣を行っています。自立生活センター南十字星は私たち障がいを持った当事者が自立支援活動をサポートする事業所です。自立生活センターでは、障がい者が地域で自立した生活を実現する為に必要な情報提供や相談事など様々な支援や専門機関との連携のサポートを行います。



金城代表
私たちの仕事は本人が自立したいという強い意志がないと、私たちから「自立しようよ」と投げかけてもうまくいきません。本人から

声が上がって、一緒に頑張りたいという話にならないといけないし、本人が安心して自立支援プログラムをやっているという自信がないといけません。

中山市長 自立支援のヘルパーの方は特別な研修や資格が必要ですか？

金城代表
重度訪問のヘルパー資格が必要になります。

中山市長
現在、所属しているヘルパーさんは何人いますか？

金城代表
ヘルパーの人数は本日参加している7名になります。だいたい一人の利用者に対して4人から5人のヘルパーが必要になります。

砂川氏
これまでの活動としまして昨年7月に事務所を構えまして、12月に施設を開所しました。これまで、施設外でビーチに出てバーベキューをしたりしました。これまでの施設利用の場合だと野外は危ないなどの理由で、ビーチでの活動などができなかったのですが、私たちがサポートしながら、みんな協力しながら色んな体験ができるよう活動をしています。

また、一人だと何時間もかかる作業をヘルパーさんに手伝ってもら



らって短時間で済ませ、時間を有効に使って24時間365日を過ごしていく、本来あるべき姿で生活していくことを目指して取り組んでいます。介助者を利用することで健常者のみなさんと同じ時間の流れの中で生活していく事ができるようにします。

中山市長
みなさんの活動をもっと多くの人に知ってもらって、自分もやってみようかなと思う方が増えるといいですね。

市職員
ちなみに宮古島市では、どのくらいの方が自立支援サポートを受けていますか？

金城代表
宮古島市では8名が自立支援サポートを受けていて、20名ほどのヘルパーさんがいます。宮古島市は2年目です。宮古島市ではイベントなどでPRしたり、勉強会を開催したりしてPR活動しているようです。

中山市長
今日は色々な話を聞かせていただきありがとうございます。特に障がいの自立という事について認識を改めないといけないと思う事がたくさんありました。石垣市にも多くの障がいを持った方が暮らしていますが、この自立支援プログラムは、その一人一人が島の中で生活していく事に生き甲斐を持てるような取り組みなのではないかと思っています。ぜひ、どんどんこの活動を広げていくって参加者が増えていく事を期待したいと思っています。

【自立生活センター南十字星】
〒907-0001
石垣市大浜56番地1階
大浜中学校近く
電話 0980-87-0758